

天真寺門信徒会だより

2006
H18月
2 Vol.348

今号は、門信徒会役員さんにお寄せいただきました。今年もお仲間と「楽しいお寺活動」にご参加下さい。

大谷ご門主様は新春対談を新聞で拝読しますと、仏教の教えでは「笑顔」で対応するのが基本であると示されました。



● 今月の法語カレンダー ● 念仏は苦惱を 避けるのではなく 乗り越える力 光山道潤

今どきの宗教は、「おがみ教」か「たたり教」という新聞記事を読んだことがあります。

自分に都合のいいことばかりをお願いしたり、何かをおそれてお参りしたり、そこからは自分のことしか考えられない私たちのすがたが見えてきます。人の苦しみや悲しみにつけ込むではなく、そのことを通して本当に大事なことに気づいていく、それが真実の教えです。今「ほんもの」に出遇つたご縁を大切に致しましょう。

● 第四回 お経練習会
二十五日(土) 午後三時
「正信偈」練習スタートです!

● 淫槃会 参拝

私はゆつたりした気持で、『歎異抄』を久し振りに再読しました。浄土真宗の教えを一言で言いますと、本願を信じ「信」念仏を申さば「行」仏になる「証」とあります。

「お経練習会の活動」

世話人 笹木昌幸

毎月の「仏教講座会」その他で御同朋の皆様とお目にかかります。笑顔と愛語で今年一年を楽しく過ごしたく念願しています。

二月の行事

● 朝の日曜礼拝
毎週日曜朝七時

● 仏教講座会

二十日(月) 午後一時半
お参り・法話・茶話会
講師 清水正朋師(新潟)
あつたかくい甘酒が出ます。

● 婦人の集い

十日(金) 午後一時半
テッショーケース作りです♪

三月の行事

● ヨーガ教室
十五日(水) 和田堀廟所
一緒にお参り致しましょう♪

● 春季彼岸会

八日・二十二日(水)
各午後十二時半
あつたかくい甘酒が出ます。

○ 婦人の集い

講師 ケネス田中師
十日(金) 午後一時半

基本的なお参りの作法、

自分の心をひるがえして、他力をたのみまつれば報士往生の身となるのです。それは一番肝心なところです。仏をとなえていても、一念帰命の他力の信心を決定し

去年の十月十五日(土)午後四時から二時間、月一回のペースでお経練習会を若住職・龍哉さん、衆徒・山口さんご指導のもと開始致します。



また「讃仏偈」「重誓偈」
「十二札」「正信偈」など
のお經を、各人個々に調声
勤めしています。

初めのぎこちなさも、回
を重ねるごとに間違いを指
摘し合うほどに上達してお
ります。

そもそも現在のお經の始
まりは、一四七五年蓮如上人
が他教団の圧迫を受け、沈
滯している本願寺を、第八代
宗主として継承し、一躍大
發展させたことによりま
す。

それまでのお經にも大改
革を行い、「名号」(南無阿
彌陀仏のご本尊)と「御文
章」(お手紙)とともに、重要
な宗教儀礼の大衆化をはか
り、朝暮の勤行を從来の
「六時礼讚」から、真宗の
根本聖典である、親鸞聖人
が書かれた「教行信証」
の「行巻」

末に書かれている「正信偈」
を称えるようになりました。

二月からいよいよ「正信偈
和讃」のお勤めが始まり
ます。和氣あいあいとした
楽しい練習会です。どなた
でも参加出来ます。一度覗
いて下さい。

「涅槃会布教大会」

参拝のお誘い

二月十五日(水)午

後二時より、本願寺築
地別院「和田堀廟所」

(杉並区永福)において、
「涅槃会布教大会」
が行われ、青年布教使
四人の法話をご聴聞致
します。

「涅槃会」とは、お釈迦
さまが涅槃に入られた日をご縁につとめら
れます。参拝さ
れる方は、どうぞお寺
までお知らせ下さい。

活動報告

★十日は婦人会の新年会が
行われました。

本堂でのお参りの後は、
別室で皆さんと楽しくお食
事をし、プレゼントも用意
されたりと、大変和やかな
一時となりました。若住職
が「婦人部の方々はお寺の
看板娘です」と挨拶し
笑いが起きましたが、本當
にお寺の活動を支える欠か
せない力です。

今年もどうぞよろしくお
願い致します。

やかに集いになりました。

★最近ホームページの「ア
ルバム」に法要折々の写真
を掲載しました。

皆さまのご理解とご協力
をお願い致します！

★玄関の募金箱に昨年末ま
でに542円いただき、「ア
ユス仏教国際協力ネット
ワーク」に寄付致しました。
[天眞寺ホームページアドレス](http://www.tenshin.or.jp/)



婦人の集い「新年会」

★二十日の「仏教講座会」
後の茶話会には、お正月の
お供え餅でお汁粉をいただき
き、総代の松川さん差し入
門』をお寺で販売中です。
ぜひお読み下さい。

★春季彼岸会の講師・ケネ
ス田中先生の著書『真宗入
門』をお寺で販売中です。